

# 関門医療センター

所在：〒752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1



募集人数	待遇	病床数
15名 (令和6年度採用予定人数)	給与1年目:456,000円/月 給与2年目:523,000円/月	400床

当センターは国立病院機構の施設として、国の保健医療政策を第一線で推進する重要な使命を担っています。特に、がん、循環器病、成育医療（主として母性、小児に関する医療）についてそれぞれ国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立成育医療研究センターを頂点とする全国の国立病院網と政策医療ネットワークを組み、高度先駆的・専門的医療の実施や研究、研修を積極的に進めています。

## 研修プログラムの特徴

選択科が多いテーラーメイド式のため満足度の高い研修プログラムを組むことが可能です。2年間の研修期間中に総合外来、救急当直に参加し、プライマリ・ケアと救急研修の充実を図りながら、指導医の下で豊富な症例を経験できます。また多くの研修協力施設があり沖縄や香取、海外での研修機会もあります。

## 研修スケジュール例

1年目	内 24週	救 8週	総 4週	外 4週	麻 4週	整 4週	選 4週
	内…内科、救…救急、総…総合診療科（一般外来）、外…外科、麻…麻酔科、整…整形外科、選…選択科						
2年目	小 4週	産 4週	精 4週	地 4週	選 36週		
	小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、地…地域医療、選…選択科						

## 関連病院

- ・山口大学医学部附属病院
- ・山口県立こころの医療センター
- ・山口赤十字病院
- ・周防大島町立大島病院
- ・下関病院 ・吉水内科
- ・四国こどもとおとなの医療センター
- ・北部地区医師会病院（沖縄県）
- ・長崎県香取病院
- ・小倉記念病院
- ・公立みつぎ総合病院（尾道市）
- ・海外（WHO本部）ほか

## 主な勉強会

- 救急全例検討会（週1回）
- 研修医による救急症例勉強会（週1回）
- 指導医による勉強会（週1回）

## 指導医

【循環器内科】

大谷 望 医師



### Q 当院の自慢は？

眼下に広がるオーシャンビューの関門海峡と城下町長府の歴史地区に囲まれ、心癒される恵まれた環境で研修ができます。研修医宿舎は隣接しており休息するには最適で、周囲にはショッピングモールや飲食店も数多く生活するにも便利です。目の前には美術館、少し足を延ばせば唐戸市場、水族館、また交通のアクセスも良く休日も楽しめます。

### Q 研修内容のセールスポイントは？

研修医が多く活気に溢れています。多くの救急患者や総合診療患者が受診し、これらの患者の初期対応を研修医が主体性を持って行うため、基礎的臨床能力が早く身に付きます。また研修医主導の症例検討会や勉強会を毎週行っており、専門医による研修会も数多くあります。国内外に多数の研修施設を有し、自由度の高いプログラムを組むことができます。

### Q どんな指導を心掛けていますか？

毎日が「面白い」「チャレンジング」と思えるように指導しています。まずは自分で考え問題点を整理したうえで指導医の意見を求め、それに対して誠実に指導医が解決策を導きます。当院の指導医には豊富な知識と圧倒的な研修医の牽引力があります。また患者にも同僚にも誠意をもって対応するように指導しています。

### Q 医学生へのメッセージ

当院での研修はみなさんを満足させること間違いありません。周防灘、玄界灘、豊後水道から集まるおいしい魚も待っています。研修医が意気揚々と働く姿をぜひ一度見に来てください。

## 初期研修医

研修医 [山口大学出身]

河野 伶奈 医師



### Q 研修先病院として選んだ理由は？

病院見学で当時の関門医療センターの研修医とお話して、研修医がとても明るく、いきいきしていると感じたからです。研修医の方々の和気藹々とした雰囲気から惹かれ、折角研修をするのならば、このような明るい研修生活を送りたいと思い、選びました。

### Q この病院を選んでよかったことは？

研修医の人数が多いことです。大人数の集まりなどは元々苦手だったのですが、いざ研修生活が始まってみれば、相談できる仲間は多いほどよいと感じました。困ったときに皆に聞いてみると誰かは似たような経験があったり、その分野を勉強したことがあったりと頼りになります。研修以外でも趣味や話が合う人を見つけやすいと思います。

### Q 研修で最も身についたことは？

ERでの手技が身につくのは勿論ですが、あえて挙げるとすれば患者さんとお話する姿勢だと思います。基本的に救急車、walk-inで来られたかたどちらか一人でもファーストタッチを行うので、想像していた以上に会話が重要となってきます。疼痛や呼吸苦で辛そうな方にどう声をかけて話を聞くのか、血液検査をしたいけれども怖がっているかたをどう説得して、手技中にどんな声かけをするのかなど、問題にしばしば直面します。聞き取りやすい話し方や言い回し、親近感をもってもらうにはなどを意識するようになりました。

### Q 学生へのメッセージ

自分自身、研修生活が始まるまでは本当に研修先の選択はこれでよかったのかと思っていました。しかしいざ始めると、研修医同士協力しながら、仲良くしながら過ごせ、関門医療センターを選んでよかったと感じています。ぜひ、当院の研修の雰囲気を見学しに来てください！

お問い合わせ先

- 担当部署：研修部長 ●担当者：大谷 望 ●電話：083-241-1199
- Eメール：511-kanmonkenshuui@mail.hosp.go.jp